

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>		
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>		放課後等デイサービスでの勤務が初めて、経験が不足していることもあり、振り返りや業務改善に対しての全スタッフで参画出来る体制作りを行っていく必要がある。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		<input type="radio"/>	平成31年4月よりサービス提供開始のため、これから保護者等に対しての意向の把握、サービスの質の向上に努めていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		<input type="radio"/>	平成31年5月よりホームページでの公開予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		<input type="radio"/>	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>		法人内、行政主導、民間主催などの様々な研修に職員が参加している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>		スタッフ内でのミーティングだけでなく、サービス計画作成の会議を行い作成に努めていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>		スタッフ全員で意見を出し合いながらプログラムの立案を行っていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>		定期的なミーティングの中で工夫を加え、より良いプログラムの充実につなげていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>		長期休暇期間についてはサービスの提供時間が長くなることもあり、課題への取り組みと疲労につながらないことを意識していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>		それぞれの課題や状況に応じた計画作成に努めていく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>		支援開始前のミーティング、申し送りを密に行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>		振り返りと問題点や課題についてスタッフ間で共有出来る時間を設けている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>		
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>			

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っているか	○		毎日の活動が変わらないものではなく、様々な利用者の 特性に応じて支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議 にその子どもの状況に精通した最もふさわしい 者が参画しているか	○		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交 換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送 迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に 行っているか	○		面談時の関わりだけでなく送迎時のコミュニケーシ ョンと連絡帳による情報の共有を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている か	○		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こ ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共 有と相互理解に努めているか	○		利用時の情報共有については、なされているがまだ まだ関係の強化が必要であり、定期的な交流の機会 を作っていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所か ら障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、 それまでの支援内容等の情報を提供する等し ているか	○		法人内の障害福祉サービス事業所だけでなく相談支 援事業所、医療連携室と協力しながら情報提供、見 学等を行っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セン ター等の専門機関と連携し、助言や研修を受け ているか	○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がい のない子どもと活動する機会があるか	○		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加して いるか	○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子 どもの発達の状況や課題について共通理解を 持っているか	○		送迎時や連絡帳にて利用時の状況や様子について 伝え、自宅での様子についても話を聞く機会がある。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護 者に対してペアレント・トレーニング等の支援を 行っているか	○		個別の相談対応以外での支援についても今後行っ ていける環境を作っていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につい て丁寧な説明を行っているか	○		見学相談時、契約時に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談に対し随時対応し助言等を行っていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開 催する等により、保護者同士の連携を支援して いるか	○		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体 制を整備するとともに、子どもや保護者に周知 し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応し ているか	○		法人内の苦情マニュアルに基づき対応していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対し て発信しているか	○		個別での連絡や情報発信に留まっている面があり保 護者会だけでなく会報などによる発信についても行っ ていく。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		それぞれの特性に応じた連絡手段の検討や説明を心掛けている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	法人主催にて行う花見会や夏祭りには参加を頂いている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回、消防立ち合いのもと避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		研修への参加と事業所内での伝達研修も行う。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事例検証や再発防止策について月1回委員会あり。